

6

妙蓮塚三躰地蔵

<みょうれんづかさんたいじぞう> 下丸子2-1-8



新田義興の家臣3人を祀る地蔵尊。矢口の渡しで義興謀殺の際、13人の家臣がいたが、義興とともに10人が渡し舟の上で自刃。3人は向こう岸に渡り、数百人の敵陣に斬りこみ、討ち死にした。村人らが勇士3人を葬り、妙蓮という尼僧が地蔵尊を建立した。

7 頸兵衛地蔵

<くんべえじぞう>

下丸子1-1



平賀源内作の淨瑠璃「神靈矢口渡」の船頭頸兵衛にちなむ地蔵。頸兵衛は、矢口の渡して新田義興らを舟に乗せて多摩川の半ばまで来た時、底の栓を抜き舟を沈めた。これを悔いた頸兵衛は、義興を供養する為に地蔵を建てた。しかし、義興の崇いで地蔵の顔が溶けたといわれ「とろけ地蔵」ともいわれている。

8 新田神社

<にったじんじや>

矢口1-21-23



新田義興が謀殺された1358年に、義興を新田大明神として村人達が祀ったのが始まりとされています。本殿は明治神宮日本殿そのまま移築復元した。武運長久の守り神として、昔から祭礼のときには大変な賑わいであったといいます。破魔矢発祥の地。

9 氷川神社

<ひかわねんじんじや>

矢口1-27-7



日矢口地区の神社として地元の人々に親しまれている。ご神祭は素盞鳴尊(すさのおのみこと)。古くから村の鎮守様として信仰を集め、夏には、盆踊りが盛大に行われる。

10 杖光院

<けこういん>

矢口2-3-12



真言宗智山派。古くは福田山蓮花寺と称し、開山は1674年。矢口新田神社の別当寺、同宗真福寺が大正末年に廟寺となり当寺に合併された。玉川八十八ヶ所靈場第六十二番札所として参拝者も多い。

11 今泉神社

<いまいずみじんじや>

矢口2-2-21



日今泉地区の神社として地域の信仰を受け、町の人達に親しまれており、2年に一度の本祭りには街をあげて盛り上がる。宵宮には演芸大会が開催され舞踊、歌が披露される。また、毎年1月に行われるどんど焼きでは、焼き餅・お汁粉が振る舞われ、近隣の人たちで大いに賑わう。

12 十寄神社

<じゅせ(じゅつき)じんじや>

矢口2-17-28



新田義興が矢口の渡しで自刃に追い込まれた時、最後まで行動をともにし、討ち死にした13人の家臣のうちの10人を里の人々が祀って建てたといわれる。樹齢約700年のケヤキは、30年ほど前に落雷により空洞になったが、そこに種が落ち、今のが高さになった。

矢口 いまむかし



暴れ川の異名をとる多摩川は、大正7年に下流改修工事を開始、昭和8年に完成後は水害も減り、白魚も獲れました。その後、産業の発達は水を汚染し、魚は減少しましたが、下水整備や環境問題に取り組んだ結果、水質が向上しました。ガス橋緑地は、野球やテニスなどが楽しめる区民の憩いの場となっています。

13

延命寺

<えんめいじ>

矢口2-26-17

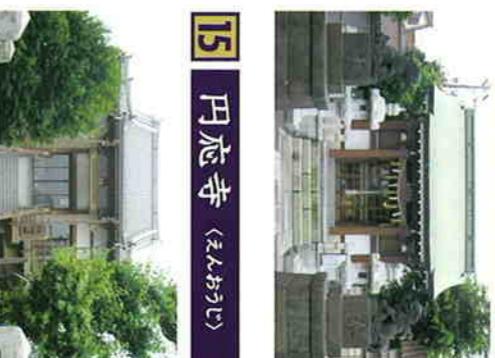


浄土宗の寺院。1358年新田義興の怨霊の雷火が延命寺に逃げ込んだ足利方の江戸守護代がけて落ち、塔は焼失。難を免れた聖徳太子作の延命子育地蔵尊は、以後「火雷除子安地蔵」として崇拜される。子育て地蔵尊にちなんで地蔵祭りが行われる。双盤念仏は、23区内で唯一の東京都無形民俗文化財に指定されている。

14 東八幡神社

<ひがひはちまんじんじや>

矢口3-17-3



真言宗智山派。板碑型の石碑があることから、鎌倉時代後期には創建されていたと思われる。玉川八十八ヶ所靈場第六十三番札所で、定期的に写経会、落語会などが開かれる。

多摩川の草花

多摩川河川敷では、四季を通じて約400種の草花が見られます。低地生の荒地や道端に生えている植物の大部分が生育、春にはハマダイコン、秋にはヒガンバナなど季節感あふれた草花が

目を楽しませてくれます。



～我らの母校 校章由来～

矢口中学校

◆ 昭和22年5月7日開校

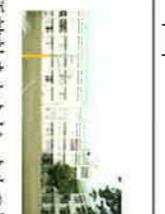
◆ 所在地：下丸子2-23-1



矢口西小学校

◆ 大正9年9月1日開校

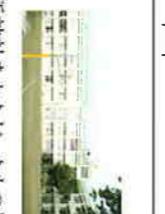
◆ 所在地：下丸子1-7-1



千鳥小学校

◆ 昭和27年10月11日開校

◆ 所在地：千鳥2-5-1



矢口小学校

嶺町小学校

◆ 昭和23年5月11日開校

◆ 所在地：田園調布南6-10

